

島根半島四十二浦巡り再発見研究会の酒井董美会員が4月から行う山陰中央新報社文化教室での講座ご案内

会場=松江市殿町 山陰中央新報社本社 4階

時間=木曜日10:30~12:00 (90分間)

講座名	ふるさとの民話を楽しもう (含・わらべ歌)	期 間	4月~12月
担 当	酒井 董美	形 態	座 学

概 要	<p>【講座の目的】 山陰地方に昔から伝承されてきた民話やわらべ歌を、録音や映像資料などを通して、それらに内在している先祖からの信仰や風習、人生観などを理解します。資料はいずれも講義者が半世紀にわたって古老を訪問して聞かせていただいたものです。</p> <p>【達成目標】 民話やわらべ歌は無形民俗文化財であることを理解することを目標としますが、出来れば受講者自身も、これらの民話やわらべ歌を語ったり歌ったり出来ることが望ましいと考えます。</p>	
日 程	<p>— 民 話 —</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 4月 8日 1, 民話概論 大歳の火 (奥出雲町) ② 22日 2, 出雲地方の弁慶伝説 ③ 5月13日 3, 水飴幽霊 (松江市) ④ 27日 4, 菖蒲が迫の婆 (浜田市) ⑤ 6月10日 5, 猫檀家 (三朝町) ⑥ 24日 6, テンテンコウシ (西ノ島町) ⑦ 7月14日 7, 天人女房 (美保関町) ⑧ 28日 8, 千年比丘尼 (浜田市) ⑨ 8月 4日 9, 三枚のお札 (智頭町) ⑩ 25日 10, 蛸屋八兵衛 (知夫村) ⑪ 9月 8日 11, 博打打ちと呪宝 (倉吉市) ⑫ 22日 12, 姉は鬼 (飯南町) ⑬ 10月13日 13, 横着者の話 (隠岐の島町) ⑭ 27日 14, ホトギスの鳴き声 (琴浦町) ⑮ 11月10日 15, 舌切り雀 (境港市) ⑯ 24日 16, カタツムリの息子 (吉賀町) ⑰ 12月 2日 17, 狐のかたき討ち (大山町) ⑱ 16日 18, 若水汲み (奥出雲町) 	<p>— わらべ歌 —</p> <p>レンゲつむか (隠岐の島町)</p> <p>親ごに離れて (安来市)</p> <p>山の奥のハマグリと (鳥取市)</p> <p>青葉しげちゃん昨日は (米子市)</p> <p>うしろのどーん (江津市)</p> <p>トンボ トンボ (海士町)</p> <p>一わとかわせ わしゃ石割らん (湯梨浜町)</p> <p>蛍 蛍 こっち来い (大田市)</p> <p>一つとせ 人も通らぬ山道を (琴浦町)</p> <p>びりがびっちょう (浜田市)</p> <p>うちの隣の赤猫が (米子市)</p> <p>こういしこうらい (松江市)</p> <p>お月さんなんぼ (鳥取市)</p> <p>一つとせ 燭に笑ぶる (智頭町)</p> <p>お姉ちゃん お姉ちゃん (江府町)</p> <p>カラス カラス勘三郎 (北栄町)</p> <p>正月つあん 正月つあん (西ノ島町)</p> <p>正月の神さん (松江市)</p>
テキスト	酒井董美著『新山陰の民話とわらべ歌』今井出版刊 (直接販売します ¥1,800) 税抜き	
参考文献	酒井董美著『山陰の口承文芸論』『山陰のわらべ歌・民話文化論』『山陰のわらべ歌』(いずれも三弥井書店刊) 『ふるさとの民話』全15集 (ハーベスト出版)	

原則として第2、第4 木曜日10:30~12:00 (18回分) 19,800円 お尋ねは酒井まで 携帯080-1910-1311